

2019年11月21日

シリーズ A 投資ラウンドで約 6 億円を調達しました

株式会社 Luxonus（東京都港区、代表取締役：相磯貞和、以下「Luxonus」）は、第三者割当増資を実施し、約 6 億円を調達しました。今回の割当先は、各ベンチャーキャピタルが運用するファンド、及び事業会社等の下記計 8 社となります。

Luxonus は、独自の光超音波技術（Photoacoustic 3D Imaging=PAI-3D）を用いて疾患の早期発見および病勢診断が可能な汎用撮影装置の実用化を目指す大学発ベンチャーです。この度の資金調達により Luxonus は、量産機の開発を推進し、2021 年に研究機関向けの理化学機器として、2022 年には医療機関向けの医療機器としての発売を目指します。

PAI-3D とは生体にパルス光を照射した際に発生する超音波を 3D 形状の超音波センサーで捕捉し、受け取ったデータをコンピュータ解析し画像化する技術です。PAI-3D を用いた新規画像診断機器は既存の撮影技術である超音波や X 線コンピュータ断層撮影（CT）、核磁気共鳴画像（MRI）などと比較して、非侵襲（造影剤を使用しない）・無被ばくで、血管の超高解像度 3D 撮影が可能です。血液の酸素飽和度等も可視化でき、術前計画や投薬効果検証への活用が期待されます。さらに色素造影剤を用いることでリンパ管を高解像度で 3D 撮影することが可能となりました。

開発を進める光超音波 3D 撮影装置により、既存の撮影技術では早期診断や病勢診断が困難だった疾患（血管障害やリンパ浮腫、乳がんなど）に対して、広範囲かつ超高解像度の撮影が可能となり、治療成績の改善につながることを目指しています。

Luxonus の技術は、京都大学とキャノン株式会社との共同研究である「京大ーキャノンプロジェクト」（2006 年度～2015 年度に実施）や、内閣府による革新的研究開発推進プログラム（ImPACT）の「イノベティブな可視化技術による新成長産業の創出」（2014 年度～2018 年度に実施、慶應義塾大学、京都大学、キャノン、日立製作所、ジャパンプローブなどが参加）などによる研究成果を基盤としています。

【お問合せ先】

株式会社 Luxonus

〒212-0032

神奈川県川崎市幸区新川崎 7-7, AIRBIC, A22

TEL 044-742-8681

FAX 044-742-8683

Email lux-info@luxonus.jp

■出資参画企業

- ・株式会社慶應イノベーション・イニシアティブ
代表取締役社長：山岸 広太郎
本社：東京都港区
URL：<https://www.keio-innovation.co.jp/>
- ・京都大学イノベーションキャピタル株式会社
代表取締役：室田 浩司
本社：京都市左京区
URL：<http://www.kyoto-unicap.co.jp/>
- ・株式会社日本医療機器開発機構
代表取締役：内田 毅彦
所在地:東京都中央区
URL：<https://jomdd.com/>
- ・株式会社 OKB キャピタル
代表取締役：飯沼 日出満
所在地：岐阜県大垣市
URL：<https://www.okb.co.jp/investor/profile/connect.html>
- ・学校法人芝浦工業大学
理事長：五十嵐 久也
所在地：東京都港区
URL：https://www.shibaura-it.ac.jp/educational_foundation/
- ・三菱 UFJ キャピタル株式会社
代表取締役社長：坂本 信介
所在地:東京都中央区
URL：<https://www.mucap.co.jp/>
- ・横浜キャピタル株式会社
代表取締役社長：榎淵 徳雄
所在地:神奈川県横浜市
URL：<https://www.boy.co.jp/hojin/venture/>
- ・株式会社ケイエスピー
代表取締役社長：内田 裕久
所在地：神奈川県川崎市
URL：<https://www.ksp.co.jp/>